

仏間の標準寸法

3尺仏間の寸法（全宗派共通・全国標準）

3尺仏間用のお仏壇は基本的に幅 64～81cm、奥行 55～75cm、高さ 155～170cm ぐらいの大きさです。お仏壇としては最も小さい大きさとなりますので、以下に示す寸法は必ず確保するようにしてください。

幅	<p>内側で 3 尺あれば全く問題はありませんが、実際のところ 80cm 以上とっていただく必要があります。お仏壇の扉を開く関係上、最も小さいサイズである幅 64cm のお仏壇の場合でも 75cm 以上は必要となります。幅 75cm 以下のお仏間では安物の略式仏壇しか入らなくなります。</p> <p>施主様のご要望で、仏間に両開きの唐紙をつける場合は、唐紙の厚み分を更に広く取ってください。但し、本来仏間に唐紙を取り付けること自体許されていることではありませんので注意してください。</p>
奥行き	<p>最低でも内側 60cm 以上必要です。高級品ほど奥行きが深くなりますので、80cm ぐらいはあったほうが良いでしょう。</p>
高さ	<p>5 尺 8 寸の落とし掛けで床框 4 寸であれば 162cm の高さとなり、奥行きさえ余裕があれば、ほとんどのお仏壇が入ります。奥行きが 60cm 確保できない場合は、床框にお仏壇がかかりますので、落とし掛けまでの高さは 170cm は必要となります。</p>

4尺～4尺5寸仏間の寸法

4尺～4尺5寸仏間の場合は、仏間幅については問題ありません。お仏壇の幅は2寸刻みで各種のものがああります。奥行きは内側で80cmあればよいでしょう。問題になるのは仏間の高さです。この地方で一般的なお仏壇は寸法から大きく2種類に分けられます。彦根型とよばれる普通寸法の仏壇と、名古屋型とよばれる、この地方独特の背の高いお仏壇です。

名古屋壇の場合（浄土真宗東西用・この地方独特サイズ）

岐阜市中央部、東部、南部、各務原市、羽島市、羽島郡、本巣郡南部、安八郡、海津郡、愛知県北西部において主流をなすお仏壇です。4尺～4尺5寸仏間用のお仏壇の高さが175～190cmありますので、奥行きを80cm確保した上で、4尺仏間で落とし掛けまでの高さ180cm、4尺5寸仏間で高さ195cm必要となります。

彦根壇の場合（浄土真宗東西用・全国標準）

岐阜県内、上記以外の地域で主流をなすお仏壇です。仏間落とし掛けまでの高さは4尺仏間で170cm、4尺5寸の場合175cm必要です。全国的にも標準的サイズです。

唐木仏壇の場合（禅宗用・全国標準）

禅宗用の唐木仏壇（黒丹、紫丹）の場合も、彦根壇と同じ寸法となります。仏間落とし掛けまでの高さは4尺仏間で170cm、4尺5寸の場合175cm必要です。これは全国的にも標準的サイズです。

1 間仏間の場合

名古屋壇（浄土真宗東西用・この地方独特サイズ）

1 間仏間用名古屋壇の場合、お仏壇の奥行きが 80cm を超えるものが少なくありません。

最低でも内側で奥行きが 85cm、できるならば 90cm 確保してください。落とし掛けまでの高さは 200～210cm 必要となります。奥行き 90cm が確保できない場合には、落とし掛けまでの高さ 210cm 以下の仏間では名古屋壇は入りませんのでご注意ください。

現在仏間高さが 180cm くらいで名古屋壇の入っているご家庭もありますが、これは納品のときお仏壇の下の部分を 15cm 前後切り取った変形のもので、そのお仏壇に合わせた仏間を作りますと、買い替えは不可能となります。名古屋壇の最大の特徴は、背が高く奥行きが深い豪華な所にあります。高さ 180cm 前後の仏間に合わせた特注品や、下を切り取った変形仏壇では名古屋壇を買った価値が損なわれます。

彦根壇（全国標準）

奥行き 80cm、落とし掛けまでの高さ 180cm あれば、ほとんどの場合問題ありません。

ただし、奥行きが 80cm を少し切る場合は、高さ 183cm 以上取るようにしてください。

唐木仏壇（全国標準）

奥行き 80cm、落とし掛けまでの高さ 180cm あれば、ほとんどの場合問題ありません。ただし、奥行きが 80cm を少し切る場合は、落とし掛けまでの高さ 183cm 以上取るようにしてください。